

## 故小笠原太郎先生（初代会長）を偲んで

大阪府栄養士会会長 藤原政嘉



先日、ご家族（ご子息小笠原力一氏）から先生がご逝去された旨の訃報が届けられました。文面には「本年8月21日に99歳で天寿を全うしました」との内容でした。

つい先日も現栄養士会理事となにげない会話の中で先生の話が出て、先生の澁刺としたお姿やお言葉を思い出し、何時までもお元気でお過ごしでおられることだと思っておりました。ご逝去のお知らせをいただいた今は、ただ悲しみがこみ上げるばかりです。ここに先生のご生前のご功績を偲んで心からご冥福をお祈り申し上げます。

小笠原先生は日本の栄養士養成教育の先輩として栄養士を拝命され、その後、一貫して学童から成人に至るまでの栄養に関する知識の普及に務められ、各種給食の合理化を推進し、栄養・調理技術者の育成ならびに栄養学術の向上にご尽力され、公衆衛生の向上に多大な功績を残されました。この間、昭和25年から61年に至る36年間に亘り、卓越した指導力と人望により、栄養士会理事ならびに会長（社団法人大阪府栄養士会の初代会長）を継続して歴任され、今の大阪府栄養士会の基盤を築いていただきました。また、昭和60年には大阪城ホールを中心会場に第32回日本栄養改善学会の学会長として見事な陣頭指揮を取られました。このときに渉外部長を果せられ展示会場の運営や協賛企業との折衝をする過程で「これが社会の常識であり慣わしである」といった貴重な体験を含んだ勉強をさせていただきました。

数々の栄養士としての教訓をいただきありがとうございました。やすらかに眠りください。